



三十歳を祝う会実行委員の皆さん

三十歳を迎えられた皆さん、おめでとうございます!



議会広報特別委員が行く!

三十歳を祝う会実行委員の皆さんにインタビュー



小道 桜さん
大学生 (江田島町)

A3 物価高で社会全体が暗いけれど、明るい未来が想像できる社会になってほしいです。自分の将来のためにも働く環境は重要だと思っているので、制度をよく理解し、当事者意識をもって社会に参加していきたいです。

A2 良くも悪くも世間が狭いです。家族的で温かい人が多いのは良いところですが、距離感が近すぎると感じる時もあります。

A1 人の気持ちが分かり、迷惑を掛けないような人になりたいです。大学でプログラミングを勉強中なので、もっと便利な世の中になるよう社会の役に立ちたいと思います。

テーマ

- Q1 どんな大人になりたいですか?
- Q2 江田島市にどんなイメージを抱いていますか?
- Q3 どんな江田島市になってほしいですか?



中元 勇太さん
社会人 (江田島町)

A3 もし将来、結婚して子どもができたときに、同級生が少ないとかかわいそうだなと思うので、少子化が少しでもいい方向に向いていけばいいと思います。

A2 観光客に来てもらう島となるように頑張っているんだなと感じています。自分で運転するようになるとサイクリストの方を避けるときに少し怖いと感じることがあります。

A1 地元の企業に就職して、休日には少年サッカーのコーチをして過ごしているので、ずっとこの島に住んでサッカーや子どもたちに関わってあげたいと思っています。



山下 瑠唯さん
大学生 (大柿町)

A3 市外との交流が増え、コミュニティが広がると良いと思います。小学校や中学校などの早い時期から市外の学校と交流をし、多様な価値観に触れることができれば、江田島市の魅力の再認識や、多様な進路選択につながると思います。

A1 やりたいことをやれるよう自立したいです。将来学校の先生を目指しており、仕事とプライベートを両立させながら、しっかりとキャリアを積んでいきたいです。

A2 コミュニティーが出来上がっていて広がりやすいイメージがあります。高校で市外に出て多くの人に出会い、外を知ることが大事だと感じました。



長坂委員

今回、20歳を迎える女性お二人を担当させていただきましたが、将来のビジョンを語る姿が輝かしかったです。本市に20代女性が少ないという現状を考えさせられる貴重なご意見をいただきました。いただいたご意見を反映できるように議会でもしっかり取り組んでまいります。

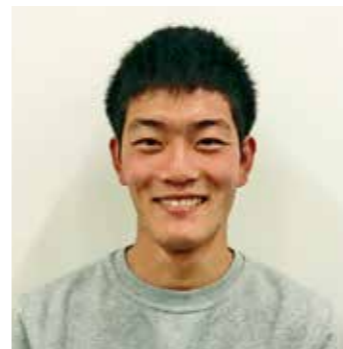


宮下委員長

皆さまと将来のことや、江田島市のことをお話する中でいただいた、公共交通問題やコミュニティづくり、人口減少問題等についての課題やヒントを活かして、議会一丸となって取り組んでいきます。

● **インタビューを終えて**

これからも皆さまと共により良い島に育てていけたら幸いです。



福島 知弥さん
社会人 (江田島町)

A3 この島に住み続けることができるように、公共交通の課題が良い方向に解決していればいいと思います。

こどもの数も少ないのでここも気になるところです。

A1 僕は現在、地元の企業に就職しています。これから島に貢献という大袈裟ですが、生まれ育った島や、地元のために力になっていけたらと思います。

A2 アウトドア派なので、街と比べると山や海などの自然が多く、過ごしやすさを感じていますが、免許を取得するまではバスなどの便数などが不便だなと感じることはありました。